

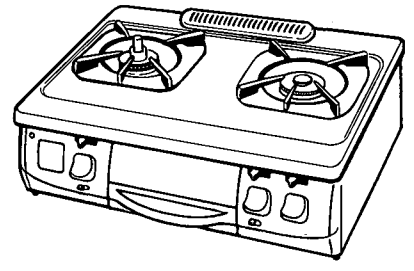
# パロマ ガステーブル

PA-3200CE  
PA-3200CE-L  
(ステンレストッププレート)

PA-3200CEF  
PA-3200CEF-L  
(フッ素コートトッププレート)

保証書付

型式名: PA-3200CE  
PA-3200CE-L  
PA-3200CEF  
PA-3200CEF-L



## 取扱説明書

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してください。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

取扱説明書を紛失された場合は裏表紙に記載のお近くのパロマまでお問い合わせください。

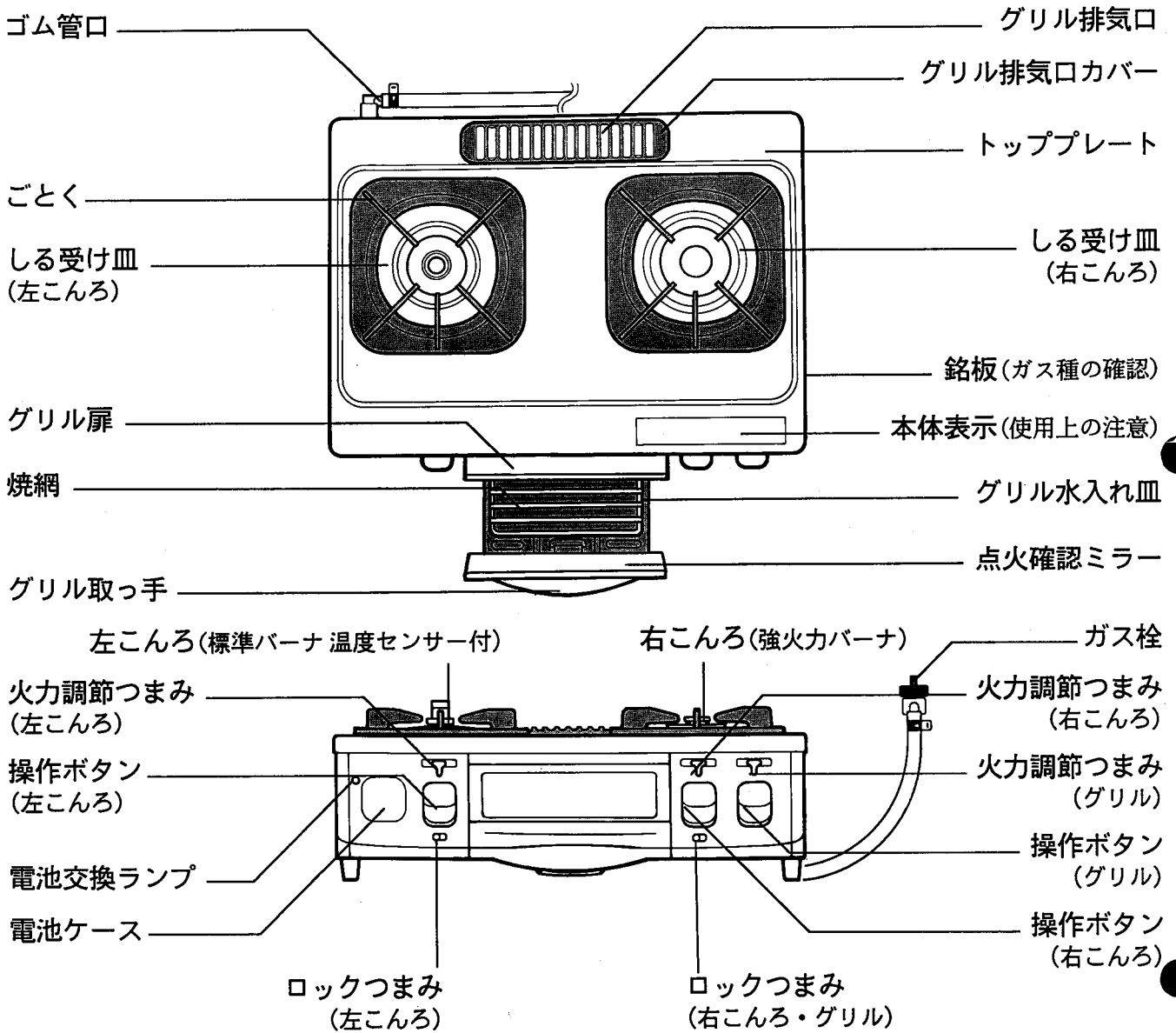
各部のなまえ.....1	お使いの前に
必ずお守りください.....2	
設置について.....6	
こんろの使いかた.....9	使いかた
グリルの使いかた .....14	
点検とお手入れ .....16	点検とお手入れ
故障かな?と思ったら .....20	故障?
保管とアフターサービス ...21	サービス
仕様 .....22	
保証書 .....裏P	

このたびはガステーブルをお求めいただきまして、ありがとうございます。

# Paloma

# 各部のなまえ

取扱説明書中の図はPA-3200CEとPA-3200CEFのご紹介となっております。  
PA-3200CE-LとPA-3200CEF-Lは強火力バーナが左、標準バーナが右についています。



## 特長1 天ぶら油過熱防止機能

標準バーナには天ぶら油の過熱を防止するために温度センサーが付いています。温度センサーが約250℃になると自動的にガスを止めます。

## 特長2 快転トビラのぐるりんば

グリル水入れ皿を引き出すと、グリル扉はくると上方へ回転しながら開きます。熱いグリル扉がじゃまにならずにお魚を裏返せます。




## 特長3 フッ素コートトッププレート (PA-3200CEF・PA-3200CEF-L)

トッププレートはフッ素コート仕上げになっています。煮こぼれもサッとひと拭きでお手入れできます。

# 必ずお守りください

〈安全に正しくお使いいただくために〉

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



分解禁止



火気禁止



接触禁止



必ず行う

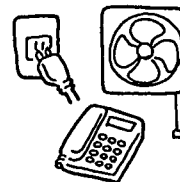
## △ 危険

### ■ ガス漏れ時の処置

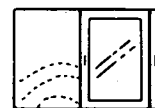
ガス漏れに気付いたときは、①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない

→炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐにガス栓を閉める
- ②窓や戸を開ける
- ③お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する  
(周辺の電話は使用しない)



火気禁止



ガス栓を閉め  
窓を開ける

必ずお守りください  
安全のため

# 必ずお守りください

## ⚠ 警告

### ■使用ガスについて

ご家庭のガスの種類と機器の銘板(右側面に貼付け)に表示されているガスの種類が合っているか確かめる合っていないときは使用しない

\*転居時も必ず確認してください。

→ガスが合っていないままご使用になると、火災や不完全燃焼、やけどなどの原因になります。

ガスの種類がおわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者までご連絡ください。

! ガス種を確認する

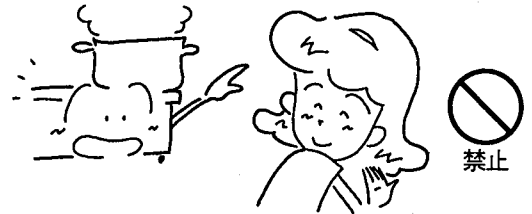
型式名 都市ガス用  
ガスグループ ガス消費量  
製造年・月-製造番号 R07

型式名  
LP ガス ガス消費量  
製造年・月-製造番号 R07

### ■火災予防

火をつけたまま機器から絶対にはなれない

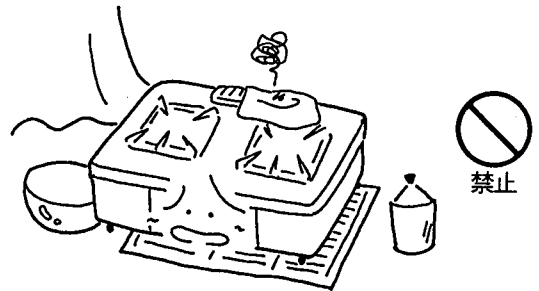
→特に揚げものときは火災のおそれがあります。



機器の周囲に可燃物(カーテン、新聞紙、紙袋など)や引火物(スプレー缶など)を置かない、近づけない

\*機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。

→火災の原因になります。  
スプレー缶の場合は熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



グリル使用中、グリル排気口の上にタオル、ふきんなどをのせない

→火災や不完全燃焼の原因になります。

機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない

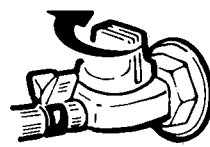
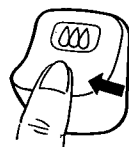
→火災の原因になります。



## ⚠ 警告

### ■ 異常時の処置

- ① 異常な燃焼、臭気、異常音が感じられた場合は、消火操作してガス栓を閉め、「故障かな?と思ったら」(20ページ)に従う
- ② 地震、火災などの緊急の際は、自分の身の安全を確かめてから、あわてずに消火操作する



消火操作  
をする

## ⚠ 注意

### ■ ガス事故防止

ゴム管はガス用ゴム管(検査合格またはJISマーク入り)を使い、古い(ひび割れ、さし込み口のゆるい)ゴム管やビニール管は使わない  
→ガス漏れの原因になります。

使用後は消火を確かめ、外出・就寝時にはガス栓を閉める

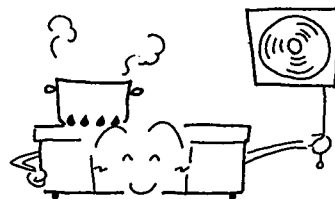
\*特にグリルは消し忘れをしやすいので機器から離れるときは必ず消火を確かめてください。



ガス用ゴム  
管を使う

### ■ 換気に注意

閉めきった部屋で長時間使用しない  
使用中は窓を開けるか換気扇を回す  
→一酸化炭素中毒の原因になります。



換気をする

### ■ 用途について

調理以外の用途には使わない

→過熱・異常燃焼による焼損や火災の原因になります。

コンロを覆うような大きな鉄板類やなべは使わない

→不完全燃焼や機器の異常過熱の原因になります。

なべの大きさにあった火力で使う

→なべ底よりあふれた炎によりなべの取っ手が破損するおそれがあります。

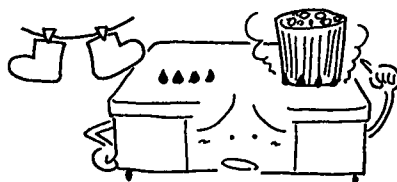
ごとくに安定してのるなべを使用する

→底がすべりやすいなべ、径の小さいなべなど不安定ななべは使用しないでください。傾いてやけどのおそれがあります。

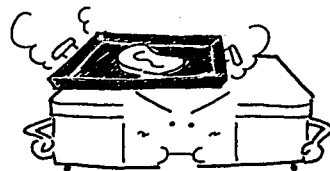
グリル使用時はグリル水入れ皿に必ず水を入れ、水以外のものは入れない

グリル使用後は必ずお手入れする

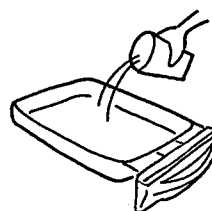
→魚や肉から出た脂がたまり、使用中に燃えて火災の原因になります。また、グリル水入れ皿を出し入れする際に重く感じたり、ホーローを傷めることもあります。フッ素コートトッププレートの場合、変色の原因にもなります。



禁止



禁止



水を入れる

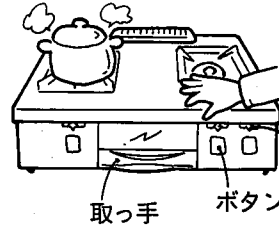
# 必ずお守りください

## ⚠注意

### ■やけどに注意

使用中や使用直後は操作部(つまみ・ボタン類・グリル取っ手)以外は触らない

→機器本体とその周辺および調理道具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。  
\*特に小さいお子様がいる家庭では注意してください。



接触禁止

使用中・使用直後は機器を移動させない

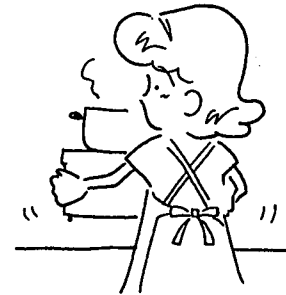
→こんろ上の調理物などが倒れてやけどをするおそれがあります。

点火操作時はバーナ付近に顔を近づけ過ぎない

→熱や炎でやけどをするおそれがあります。

使用中はバーナ付近に触れないように注意する

→衣服に炎が移ったりする場合があります。



禁止

この機器の点火装置以外の方法では点火しない

→やけどをするおそれがあります。

グリル使用中はグリル排気口に手や顔を近づけたりなべの取っ手等を向けたりしない

→高温の排気熱が出ているため、やけどや取っ手が破損をするおそれがあります。

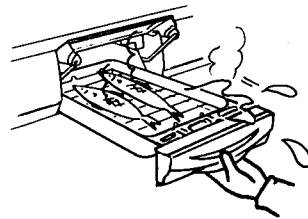
グリル庫内に食品屑やふきんなどがないようにする

\*取り除く際はケガをしないように注意してください。

→使用中に燃えることがあります。

使用中・使用直後はグリル水入れ皿を勢いよく引き出さない

持ち運びするときは中の水がこぼれないように注意する  
→水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。



禁止

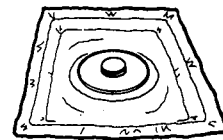
### ■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わない

→当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

しる受け皿の上に市販のアルミ箔製のしる受け皿をのせない

→異常燃焼のおそれがあります。また、フッ素コートトッププレートの場合、変色の原因にもなります。



禁止

### おねがい

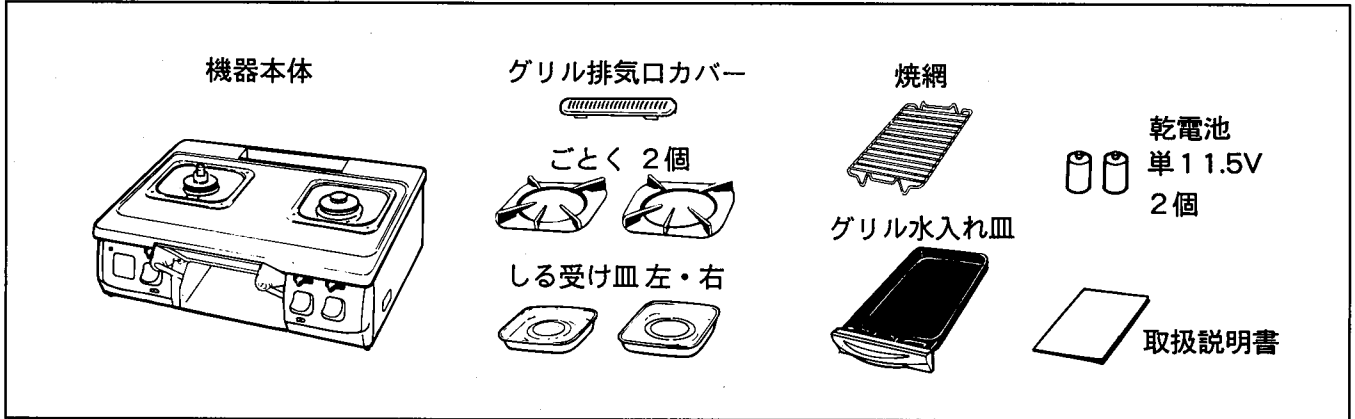
この機器は家庭用ですので業務用にお使いになると著しく寿命が縮まります。

# 設置について

## 1 部品のセット

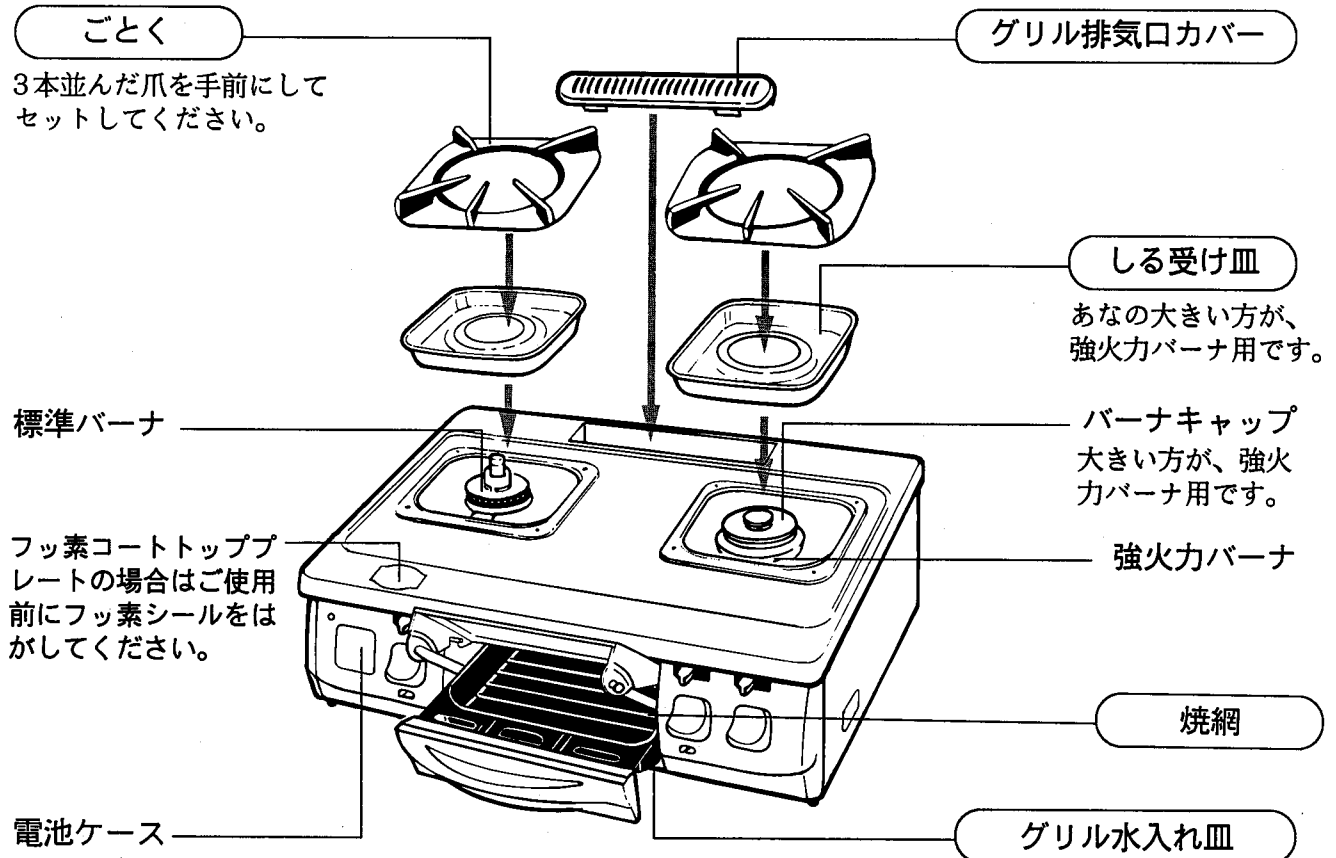
①箱から機器を取り出し、あて紙や梱包部材やテープを取り除く

②同梱部品の確認をする



③各部品をセットする

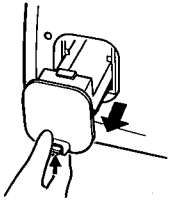
PA-3200CE-LとPA-3200CEF-Lは強火力バーナが左、標準バーナが右についています。



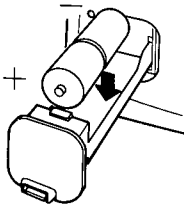
必ずお読みください

# 設置について

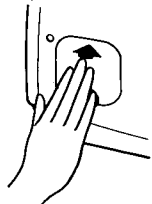
## 乾電池のセット (単1 1.5V 2個)



①電池ケースのツメを上げながら手前に引く



②乾電池の+側を手前にして入れる



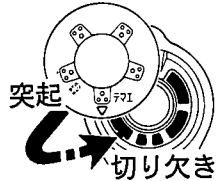
③電池ケースを奥までしっかり入れる

**お願い**

乾電池は新しいものと古いもの、または違う種類のものを混ぜて使わないでください。寿命が短くなりますし、乾電池が液漏れすることがあります。

## バーナキャップのセット

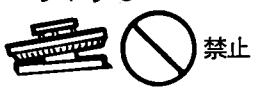
バーナキャップ上面の▽印をテマエにして突起を切り欠きにはめる



**△注意**

浮き・傾きのないようにセットする

→不完全燃焼や火災の原因になります。



禁止

## しる受け皿のセット

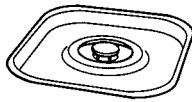

あなの大きい方を強火力バーナ(大きい方のバーナ)側に、小さい方を標準バーナ側にセットする

**△注意**

左右を間違えないように正しくセットする

\*特に強火力バーナ側にあなの小さい方のしる受け皿をセットしないでください。

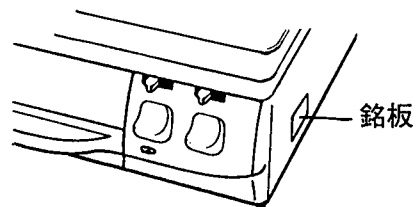
→不完全燃焼や火災、故障の原因になります。

禁止

## 2 ガス種の確認

- ①ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる
- ②合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する



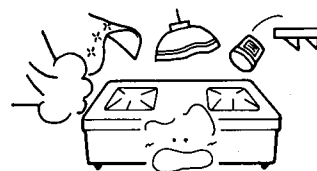
## 3 設置場所

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

### △警告

下記の条件を満たしている場所をお選びください。

- 換気が良い
- 周囲に可燃物がない
- 水平で安定している
- 風が吹き込まない
- 落下物の危険がない
- 水や熱がかからない



# 4 防火措置

各地の火災予防条例に従って防火措置を行ってください。

## ⚠ 警告

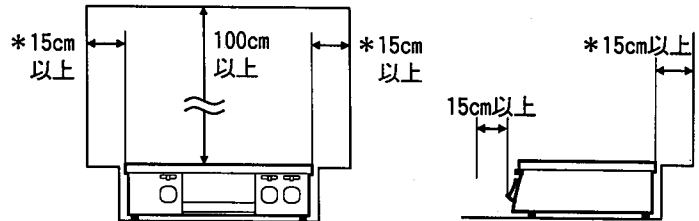
ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合でも、下記①、②の防火措置を必ず行う

→伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。

\*設置後に、機器の周囲の改装をする場合も設置基準をお守りください。

### ① 可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する

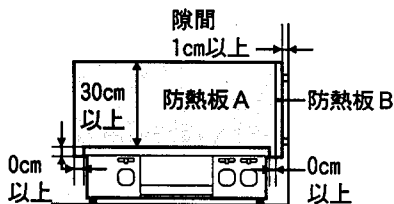
\* トッププレート上方の周囲



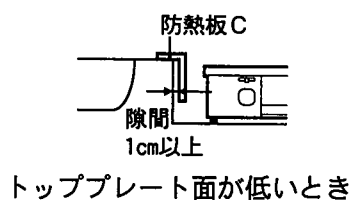
### ② ①の条件を満たせない場合は防熱板を取り付ける

別売の防熱板A、B、Cまたは金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。ご購入に際してはお近くのパロマまでお問い合わせください。

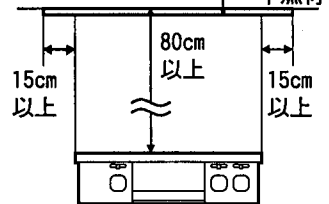
#### ●側面・背面



#### ●流し台などの側面

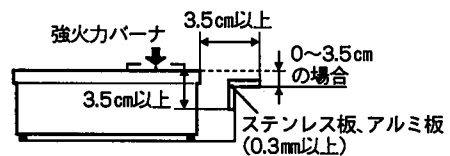


#### ●上方



### ③ 強火力バーナ側の防火措置をする

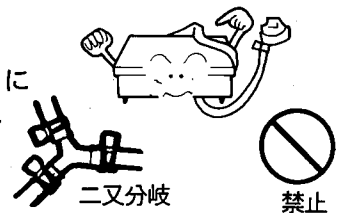
可燃性の調理台・流し台などが、トッププレートと同じ高さまたは低い場合でも強火力バーナ側を密着設置する場合は図のように保護してください。



# 5 ゴム管の接続

## ⚠ 注意

- 継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
  - 折れ、ねじれ、引張りなどないように
  - 機器の上や下を通さない
  - 接続口に汚れやごみがないように
  - 他の熱源などの高温部に触れない
- 正しく接続されないとガス漏れや火災の原因になります。

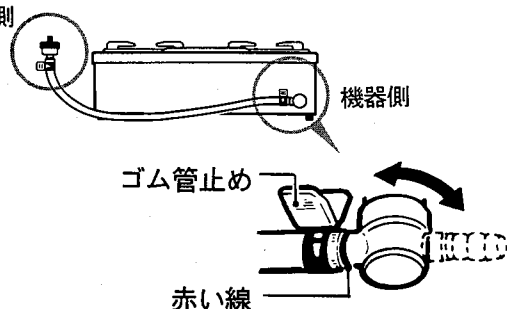


用意するもの：φ9.5mmガス用ゴム管(新品)1本  
ゴム管止め2個

(都市ガス用とLPガス用があります。お使いのガスに合わせてお選びください。)

ガス栓側

- ①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
- ②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めで止める
- ③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

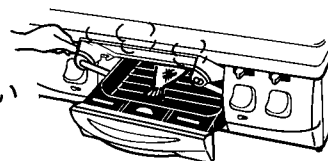


PROMAX

# こんろの使いかた

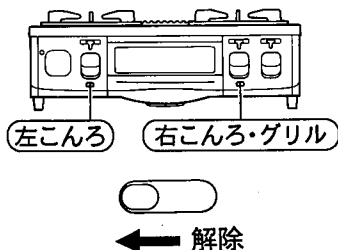
## ⚠ 注意

グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でこんろ操作をしない  
→熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。



## 1 準備

### ■ロックつまみの位置



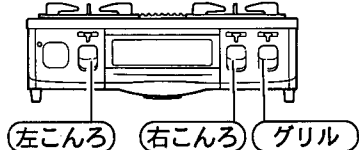
- ①操作ボタンが押されていないことを確かめる
- ②ガス栓を全開にする
- ③ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

### おねがい

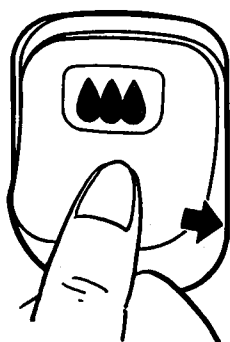
- ロックされたまま操作ボタンをムリに押ししたり、使用中にロックつまみを動かすと故障の原因になります。
- フッ素コートトッププレートの場合、鉄板焼きやこんろでの魚焼きはフッ素コートをいためる原因になります。

## 2 点火

### ■操作ボタンの位置



\*使用するバーナの操作ボタンを間違えないでください。



カラーサイン：赤

- ①操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

- ボタンはいっぱいまで押さないと点火しません。
- パチパチと音がして点火します。(こんろとグリル同時に放電)
- 火力調節つまみが弱火側にあるときに点火操作すると、つまみは強の方向へ(中ほどの位置まで)自動的に移動します。

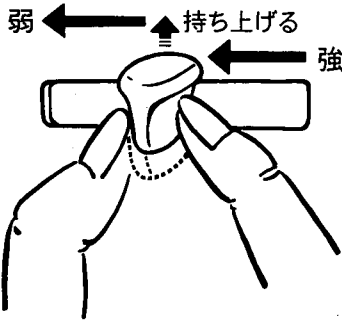
- ②手を離しても点火していることを確認する

- カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押しあわるときは「赤」に、押ししていないときは「白」に変わります。

### おねがい

- なべに付いた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
- なべをごとくにのせてから点火した方がより点火が確実になります。
- 手を離すと消火する場合は押し時間の不足です。操作ボタンを戻して周囲にガスがなくなるのを待ってから、再度点火操作し、押し時間を長くしてください。
- 初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

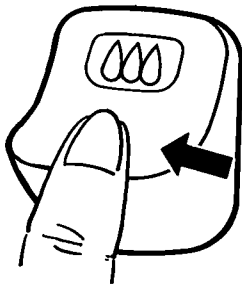
### 3 火力調節



#### ①炎を見ながらつまみをゆっくり動かす

- 強火から弱火にするとき、つまみは中ほどでいったん止まります。さらに弱火にするときは少し持ち上げて左に動かしてください。
- 最初から持ち上げた状態で、勢いよくつまみを「強」から「弱」に動かすと、消火することがあります。
- 使用中もときどき燃焼を確かめてください。

### 4 消火



カラーサイン：白

#### ①操作ボタンを押す

- 消火を確かめてください。

#### ②ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックする

- 小さなお子様のいたずら防止にご利用ください。

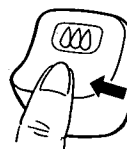
#### ③ガス栓を閉める

## 立消え安全装置が作動したときの処置方法

立消え安全装置とは風や煮こぼれなどで炎が消えたとき、自動的にガスを止める装置です。

#### 消火に気付いたとき

すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。  
炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。



#### 再点火するとき

周囲にガスがなくなるのを待ってから点火操作してください。



# 温度センサー付バーナ を使うとき

標準バーナには  
天ぷら油過熱防止機能が付いています。

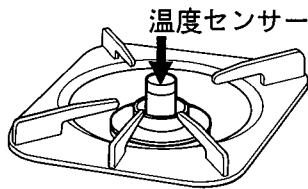
天ぷら油は油の温度が非常に高くなると、直接火が入らなくても発火します。

天ぷら油過熱防止機能とは温度センサーが常になべ底の温度を見張り、天ぷら油が、過熱による発火をする前に自動的にガスを止める機能です。

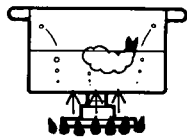


マークが貼ってある方のバーナです。

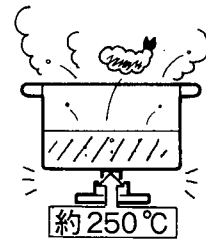
\*強火力バーナにはこの機能は付いていません。揚げもの調理をするときは必ず標準バーナをお使いください。



## 天ぷら油過熱防止機能のはたらき



温度センサーをなべに密着させることによりなべの熱が伝わります。



温度センサーの温度が約250℃になると自動的にガスを止めます。

## 天ぷら油過熱防止機能が働いたときの処置方法

- ①まず、操作ボタンを押して消火状態にする
  - ②再度使うときは油の温度が適温になるまでそのまま待つ
- \*センサーが付いていても火を付けたままにしておくと油は調理に適さない高い温度になってしまいます。
- 揚げもの以外の調理の場合なべ底の形や調理によってはセンサーが高温になり、消火します。このようなときは強火力バーナをお使いください。



# 温度センサーを正しく作動させるためにお守りください

お守りいただければ天ぷら油の過熱による発火を防止できないことがあります。

## ⚠警告

揚げものときはお守りください

### ■底が平らで熱の伝わりやすい天ぷらなべを使う

(鉄・アルミのフライパンやなべ)

次のなべは注意が必要です。

土なべ、耐熱ガラスなべ

→熱の伝わりが悪くセンサーが正しく働かないため使用できません。

ステンレスのフライパン、なべ

→熱の伝わりが遅いため油の量が少ないと発火のおそれがあります。

使用するときは必ず200ml以上の油を入れてください。

中華なべ、打ち出しなべ

→温度センサーとなべ底の間に隙間があるとセンサーが正しく動きません。

底が平らなもの、凸凹が少ないものであれば使用できます。

\*センサー付バーナ側では中華ごとく(別売)を使用しないでください。

なべ底がセンサーに接触しないことがあり、センサーが正しく働かないおそれがあります。

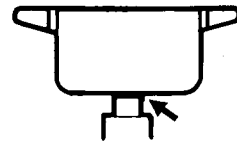
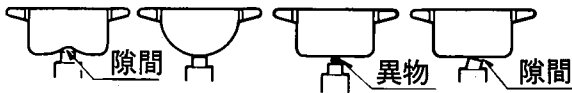
\*煮ものなど水を使う調理の場合は上記のなべ全て使えます。

安定よくするためになべの重さは調理物を含んで300g以上必要です。

但し、300g以上あっても片手なべなどで安定性が悪く傾きやすいなべは使用しないでください。

### ■なべ底と温度センサーは密着させる

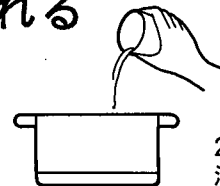
なべ底と温度センサーの間には隙間や異物がないようにしてください。



センサーに  
密着させる

### ■揚げもの調理には200ml以上の油を入れる

調理中も常に200ml以上の油量を保ってください。



200ml以上の  
油を入れる

## ⚠注意

#### センサーに強い ショックやキズ を与えない

センサーが故障する原因となります。

#### センサーはいつも 清潔にしておく

汚れるとセンサーが温度を感知できなくなります。  
汚れたときはやわらかい布で拭いてください。

(お手入れ方法18ページ参照)

#### センサーが上下に 動くか確認する

センサーを押してみてもスムーズに上下に動くか確認してください。センサーの動きが悪いと機能が正しく働かない場合があります。お手入れしてもセンサーの動きが悪いときはお買上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

# 温度センサー付バーナを使うとき

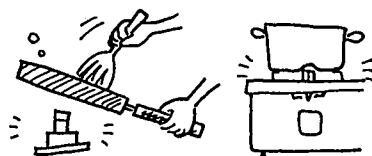
## 温度センサー付バーナ使用時のおねがい

### ■揚げもの以外の調理について

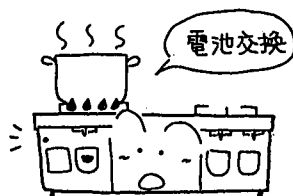
温度センサー付バーナは揚げもの以外の調理にも使えますが、センサーが約250℃になると消火するしくみになっていますから調理によっては途中で消火してしまう場合があります。また、なべがセンサーに接触していないとセンサーが消火温度まで上昇することがあります。途中で消火する調理やセンサーと正しく接触しないなべを使用するときは強火力バーナをお使いください。

〈途中消火してしまう調理の例〉

- 焼網を使う調理
- 炒りもの調理
- ウインナー炒め

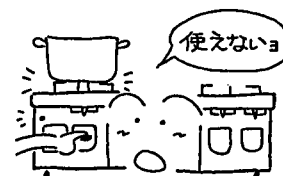


### ■電池交換ランプが点灯したら乾電池を交換する



センサー付バーナ使用中にランプが点灯したら…  
⇒電池交換7ページ参照

そのままにしておく



パチパチと放電していてもセンサー付バーナは使えなくなります。  
(操作ボタンから手を離すと消火)

- 電池が消耗してくるとセンサーが作動しなくなるので安全のため、操作ボタンを押したとき点火しても、手を離すと消火するようになります。操作ボタンを押し続ければ点火していますが故障の原因となりますのでおやめください。
- そのまま電池が消耗すると強火力バーナやグリルも点火しなくなります。
- 電池交換ランプはセンサー付バーナ使用中のときのみ作動します。電池がすっかり消耗してしまったときはランプは点灯しません。

# グリルの使いかた

## ⚠ 注意

グリル使用中はグリル扉を開けたままにしない

→あふれた熱気により、トッププレートやつまみ・ボタンが過熱され、やけどや変色・変形の原因になります。

グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でこんろ操作をしない

→熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。

グリル使用中、使用直後にグリル取っ手上面部(特に金属部)に触れない

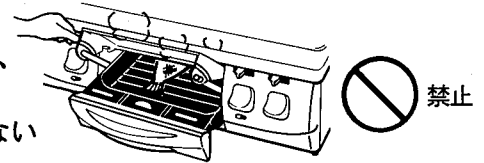
→高温のためやけどをするおそれがあります。

熱くなったグリル扉に水をかけない

→ガラスが割れてケガをするおそれがあります。

グリル使用時はグリル水入れ皿に必ず水を入れる

→魚や肉から出た脂がたまり、使用中に燃えて火災の原因になります。



上部に  
触れない



## グリル水入れ皿の取り出しかた

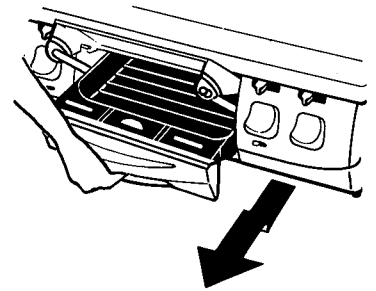
中の水がこぼれないように、ゆっくりと引き出す

取りはずすときは、止まるところまで引き、少し持ち上げて引く

\*最初から持ち上げた状態で引き出さないでください。

止まらずに勢いよく出てきてしまいます。

\*持ち運びするときは、取っ手部をしっかりと持ってください。



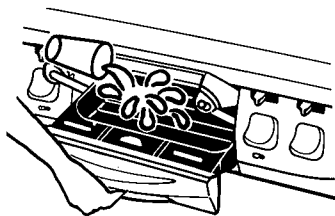
## 1 準備



高い位置



低い位置



①操作ボタンが押されていないことを確かめる

②ガス栓を全開にする

③ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

はじめて使うとき

①グリル水入れ皿にコップ1杯(約200ml)の水を入れる

②約15分、空焼きする

●庫内の油を焼ききるためで煙や臭いが出ていても異常ではありません。

④焼網をセットする

●焼網は表裏で高さが変わります。焼物の種類、大きさにより使い分けてください。

**ポイント** 焼網に食用油を塗っておくと、くっつきにくくなります。

⑤グリル水入れ皿にコップ1杯(約200ml)の水を入れる

●200mlの水は約20分でなくなります。

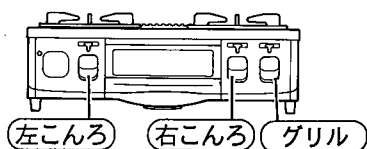
●続けて使用するときはそのつど水を足し、脂が飛び散るときは水を入れ替えてください。

⑥グリル水入れ皿を奥までしっかりと入れる

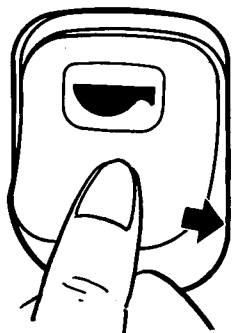
# グリルの使いかた

## 2 点火

■操作ボタンの位置



\*使用するバーナの操作ボタンを間違えないでください。



カラーサイン：赤

①操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

②バーナ全体に点火したことを確認する  
(点火確認ミラーを利用すると便利です。)

③3分ほど予熱をしてから材料をのせる

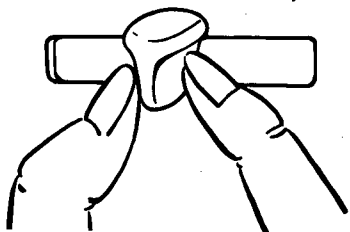
### ポイント

魚のヒレなどこげやすい部分は厚めに塩をふるかアルミ箔で包んでおくことこげかたが少なくなります。

●カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押し  
てあるときは「赤」に、押ししていないときは「白」に変わります。

## 3 火力調節

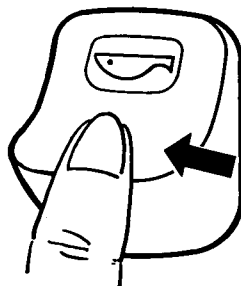
弱 ←————→ 強



①材料に合わせて火力を調節する

●裏返した面は前よりも早い時間で焼き上がります。

## 4 消火



カラーサイン：白

①操作ボタンを押す

●消火を確かめてください。

②ロックつまみを右に動かして  
操作ボタンをロックする

③ガス栓を閉める

④グリル水入れ皿のお手入れをする

おねがい

グリル水入れ皿を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。

# 点検とお手入れ

点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。

- 機器を安全・快適にお使いいただくために、日常の点検とお手入れは必ず行ってください。
- 機器の故障や異常を見つけたときはお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
- 安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。(有料)

## 点検のポイント

\*点検は常時行ってください。

機器のまわりに可燃物等  
はありませんか？

機器のまわりに可燃物や障  
害物がないようにしてくだ  
さい。

(7・8ページ参照)

各部品は正しくセットさ  
れていますか？

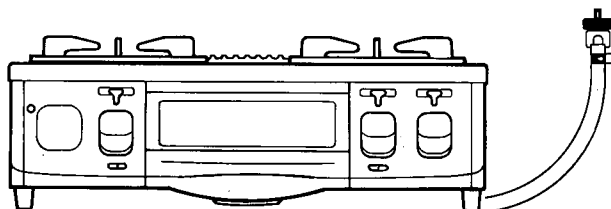
バーナキャップ、しる受け皿、  
ごとくなど左右前後正しくセ  
ットされているか確認してく  
ださい。

(6・7ページ参照)

ゴム管は正しく接続されて  
いますか？  
古くなっていませんか？

赤い線までしっかり差し込み、  
ゴム管止めで止めてください。  
古くなるとひび割れしたり、  
差し込み口がゆるくなります。  
早めに取り替えてください。

(8ページ参照)



乾電池は消耗していませんか？

温度センサー付バーナの操作ボタンを押して  
ください。電池交換ランプが点灯したと  
きは新しい乾電池と交換してください。  
\*乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年  
です。ただし、付属の乾電池は工場出荷  
時に納められたもので、自己放電のため  
寿命が短くなっている場合があります。

(7・13ページ参照)

汚れていませんか？

煮こぼれやグリル使用後などで機  
器が汚れているときはお手入れし  
てください。  
温度センサーを押してみてもスム  
ーズに上下に動くか確認してくだ  
さい。汚れが詰まっていると動きが  
悪くなり、温度センサーが正しく  
働かない場合があります。

(17～19ページ参照)

ガス臭くありませ  
んか？

ガス栓を開け、ゴム  
管の接続部からガス  
の臭いがしないこと  
を確かめてくださ  
い。

(20ページ参照)

グリルの使いかた

点検と  
お手入れ

# 点検とお手入れ

## お手入れのしかた

- お手入れの際は手袋をするなどして、ケガのないように気を付けてください。
- 機器や取りはずした部品は落さないように気を付けてください。ケガや故障の原因になります。
- お手入れの後は各部品正しくセットされているか確認をしてください。(6・7ページ参照)

### ⚠ 注意

お手入れが必要なところ以外は絶対に分解しない  
→故障や事故の原因になります。



分解禁止

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

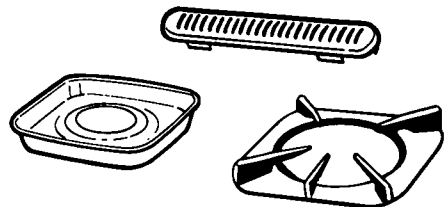
### おねがい

印刷・塗装面にはみがき粉・スチールウールなどは使わないでください。表面がキズ付きます。中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンあるいはレンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。

## ごとく、しる受け皿、グリル排気口カバー

汚れたときは台所用中性洗剤で  
水洗いし、水気をふき取る

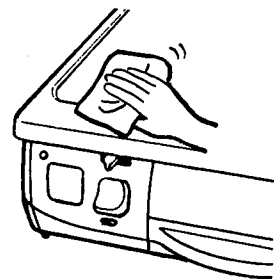
- \*汚れたままにしておくと早くいたみます。
- お手入れの後は正しくセットしてください。  
(6・7ページ参照)



## トッププレート

汚れたときは乾いた布で汚れをふき取る

- 汚れの落ちにくいときは台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布で水気をふき取ってください。
- \*汚れはそのつどお手入れしてください。  
そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなります。



### フッ素コートトッププレートについて

- お手入れにはスポンジや布などのやわらかいものをお使いください。ナイロンたわし、金属たわし、みがき粉などの固いものは表面をキズ付けるので使わないでください。
- 中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナー、漂白剤などのアルカリ性洗剤)は使わないでください。フッ素コートをいため、シミや変色の原因になります。
- 汚れたままにしておくとシミになることがあります。
- 表面のフッ素コートがはがれても下はステンレスですのでそのままお使いになれます。
- 長期間のご使用によりトッププレートのフッ素コートが変色することがありますがフッ素の効果には影響ありません。

## バーナキャップ

炎が不ぞろいになったときは

あなやみぞを金属ブラシや釘などで掃除する

\*目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。

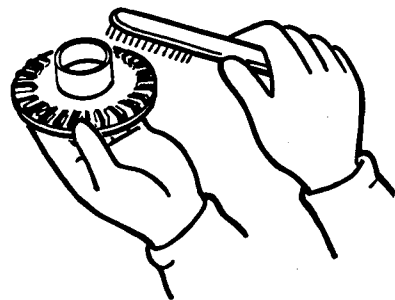
- 表側の黒い部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。万一、黒い部分がはがれてもそのままお使いになれます。

### △ 注意

水洗いしたときは、水気を十分ふき取る

→水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることがあります。

- お手入れの後は浮き・傾きのないようにセットしてください。(7ページ参照)



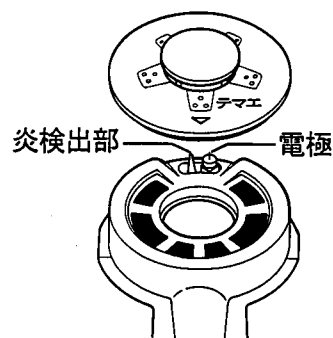
## 炎検出部、電極

汚れや水気が付いたときはやわらかい布でふき取る

\*汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。

おねがい

取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。  
故障の原因になります。



## 温度センサー

温度センサーが汚れたときはセンサーに片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

\*汚れが付いているとセンサーの感度が悪くなります。

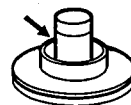
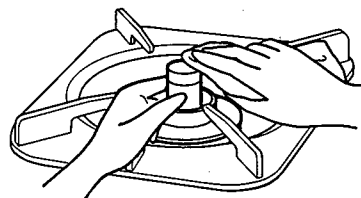
### △ 注意

センサーを押してみてもスムーズに上下に動くか確認する

→センサーの動きが悪いと機能が正しく働かない場合があります。お手入れしても動きが悪いときはお買上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

おねがい

センサーにキズを付けないでください。故障の原因になります。



温度センサーは側面の汚れもふき取ってください。

# 点検とお手入れ

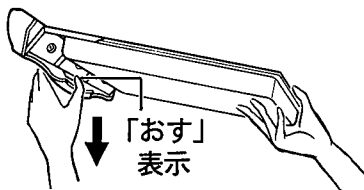
## グリル水入れ皿、グリル取っ手、焼網

お使いのたびに台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

\*グリル水入れ皿は汚れたままお使いになると、こびりついた脂汚れが発火するおそれがあります。

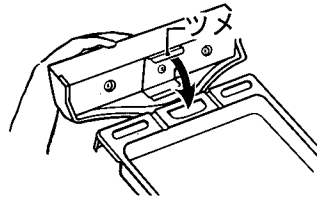
●グリル水入れ皿と取っ手は取りはずしてお手入れすることもできます。

### 取りはずしかた

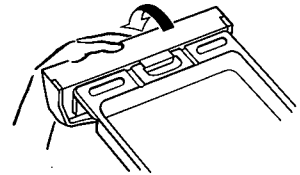


「おす」を↓の方向に押し  
はずす

### 取り付けかた



①ツメをグリル水入れ皿に  
はめ込む



②グリル取っ手をおこす  
●「おす」表示の部分がはまり、  
固定されます。

## グリル扉

汚れたときはスポンジ、布などのやわらかいもので汚れをふき取る

### ⚠ 注意

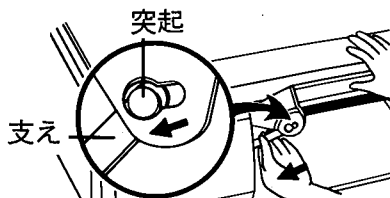
グリル庫内をお手入れされる  
ときは、ケガをしないように気を  
付ける

### おねがい

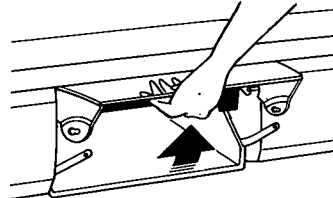
- グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないで  
ください。ガラスが割れる原因になります。
- グリル扉や支えは変形させないようにしてください。変形す  
るとグリル扉の閉まりや取り付けが悪くなる原因になります。

### 取りはずしかた

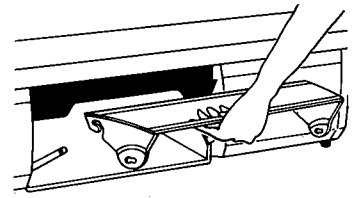
先にグリル水入れ皿を引き出しておいてください。



①支えを動かして突起を大きい  
穴に合わせ、内側にはずす  
●他方も同じようにします。

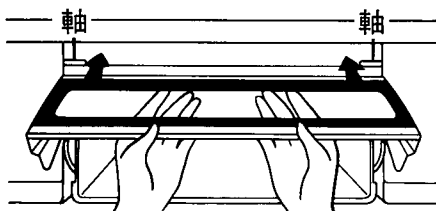


②グリル扉をいっぱいを開く

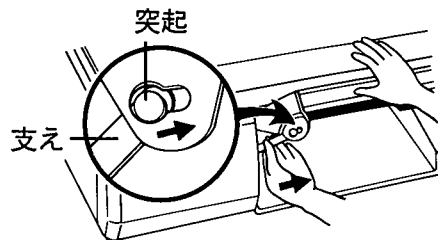


③強く引っばる  
●カンタンにはずれます。

### 取り付けかた



①2つの軸の上をすべらせるようにして差し込む  
●グリル扉が軸にはまります。



②支えを動かして、突起を大きい穴からはめ込む  
●他方も同じようにします。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。

下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現象	原因	処置方法	参照ページ
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	9・14
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	7・13
	乾電池または電池ケースの取り付けが悪い	正しくセットする	7
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す	8
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	8
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	18
	バーナキャップの浮き、傾き	正しくセットする	7
	しる受け皿のセット不良	正しくセットする	7
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	9
	点火操作が不適切	操作ボタンを押す時間を長くする	9
	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部、電極のお手入れをする	18
	アルミ箔のしる受け皿を使っている	アルミ箔のしる受け皿を使わない	5
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	-
	温度センサーとなべ底が正しく接触していない	温度センサーとなべ底を正しく接触させる	12
	天ぷら油過熱防止機能が働いた	機能が働いたときの処置方法を参照する	11
電池交換ランプが点灯する	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	7・13
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	18
	バーナキャップの浮き、傾き	正しくセットする	7
	しる受け皿のセット不良	正しくセットする	7
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	8
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換する	8
	バーナキャップの浮き、傾き	正しくセットする	7

点火と  
お手入れ

故障？

故障ではない場合	理由
点火・消火のときに「ポッ」という音がある	点火音・消火音で異常ではありません。
使用中「シャー」という音がある	ガスの通過音で異常ではありません。

# 保管とアフターサービス

## ■保管（長期間使わないとき）

- ①ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
- ②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
- ③汚れを取り除く（17～19ページ参照）
- ④乾電池を取りはずす
- ⑤箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

## ■アフターサービスについて

### 点検・修理を依頼される時

前ページ「故障かな？と思ったら」をみてもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

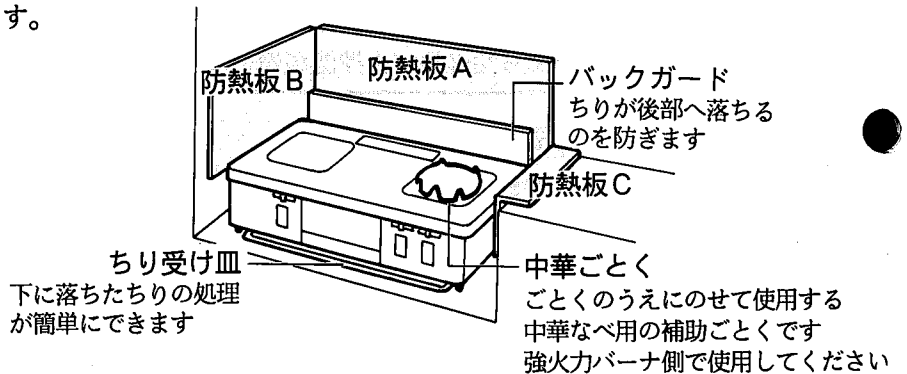
アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください



- 1 ご住所・ご氏名・電話番号
- 2 現象（できるだけ詳しく）
- 3 品名・型式名（銘板表示のもの）
- 4 ご購入日・ガス種
- 5 道順・目標

### 別売部品のごあんない

次のような別売部品を用意してあります。詳細は販売店におたずねください。



### 補修用性能部品の最低保有期間について

当社は通商産業省の指導により、補修用性能部品を当製品製造打ち切り後、最低5年間保有しております。バーナキャップ、しる受け皿、ごとく等が長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。お買い求めの際は、必ず銘板の型式名をお知らせください。

## ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。  
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

## 製造年月について

製造年月は本体右側面貼付けの銘板でお確かめください。

〈例〉



## その他ご不明の点は

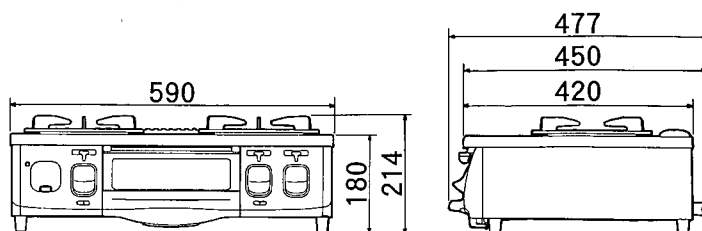
お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。(裏表紙の住所一覧をご参照ください。)

# 仕様

品名	PA-3200CE・PA-3200CE-L	PA-3200CEF・PA-3200CEF-L			
型式名	PA-3200CE・PA-3200CE-L	PA-3200CEF・PA-3200CEF-L			
種類	ガスグリル付こんろ				
点火方式	連続放電点火				
外形寸法(機器最大)	高さ214×幅590×奥行477mm				
重量(本体)	9.9kg	10.0kg			
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管				
安全装置	立消え安全装置・調理油過熱防止装置(天ぶら油過熱防止機能)				
使用ガス	ガス消費量				
ガスグループ	標準バーナ	強火力バーナ	グリル	全点火時	
都市ガス用 kW (kcal/h)	12A	2.50 (2150)	4.99 (4290)	2.01 (1730)	8.99 (7730)
	13A	2.67 (2300)	5.35 (4600)	2.16 (1860)	9.65 (8300)
	6A	2.33 (2000)	4.77 (4100)	2.21 (1900)	8.72 (7500)
	5C	2.56 (2200)	3.95 (3400)	2.09 (1800)	8.14 (7000)
	L1	2.50 (2150)	4.07 (3500)	2.15 (1850)	8.26 (7100)
	L2	2.15 (1850)	4.02 (3460)	2.15 (1850)	7.91 (6800)
	L3	2.09 (1800)	3.37 (2900)	2.15 (1850)	7.09 (6100)
LPガス用 kW (kg/h)	2.46 (0.176)	4.34 (0.31)	2.17 (0.155)	8.82 (0.63)	

☆本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

寸法図 単位: mm



保証書

品名	PA-3200CE・PA-3200CE-L・PA-3200CEF・PA-3200CEF-L	ガステーブル
----	---	--------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。

- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - お買い上げ後の取付場所の移動(取付工事の依頼が必要な機器の場合)、落下等による故障および損傷
  - 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧(電気部品搭載の機器の場合)、供給事情(燃料・給水等)などによる故障および損傷
  - 一般家庭用以外(例えば、業務用使用、車輛、船舶への搭載等)に使用された場合の故障および損傷
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - 消耗部品の取替えおよび保守等の費用 (b) 本書の提示がない場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

お客様	お名前	様	保証期間	お買い上げ	年	月	日から1年
	ご住所	〒	販売店	店名			
	お電話			住所			
				電話番号			

株式会社 **パロマ**

〒467名古屋市長区瑞穂区桃園町6番23号  
電話 052 (824) 5145



修理記録

年月日	修理内容	サービス員⑧

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問合せください。  
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。



あなたのおそばに安心のネットワーク

パロマガス機器の修理・点検などのご相談はお近くのパロマへお問い合わせください。

**パロマ**

- |             |                        |                |    |
|-------------|------------------------|----------------|----|
| 本社(お客さま相談室) | 〒467 名古屋市長区瑞穂区桃園町6番23号 | ☎(052)824-5145 | 代表 |
| 札幌営業所       | 〒001 札幌市北区北33条西7丁目1番1号 | ☎(011)726-7281 | 代表 |
| 仙台営業所       | 〒983 仙台市宮城野区南目館20-10   | ☎(022)237-5561 | 代表 |
| 東京営業所       | 〒153 東京都目黒区青葉台1丁目28番9号 | ☎(03)3719-4621 | 代表 |
| 東京サービスセンター  | 〒176 東京都練馬区高松町5丁目3番16号 | ☎(03)3995-4591 | 代表 |
| 浦和営業所       | 〒336 浦和市大字神田字横手461     | ☎(048)855-3217 | 代表 |
| 千葉営業所       | 〒264 千葉市若葉区殿台町437-1    | ☎(043)256-6221 | 代表 |
| 名古屋営業所      | 〒467 名古屋市長区瑞穂区桃園町6番23号 | ☎(052)824-5101 | 代表 |
| 静岡営業所       | 〒422 静岡市曲金7-16-5       | ☎(054)284-0981 | 代表 |
| 松本営業所       | 〒399 松本市宮田3番16号        | ☎(0263)27-2811 | 代表 |
| 金沢営業所       | 〒920 金沢市若宮町ホ43-1       | ☎(0762)63-5416 | 代表 |
| 新潟営業所       | 〒950 新潟市竹尾卸新町761-1     | ☎(025)273-5123 | 代表 |
| 大阪営業所       | 〒550 大阪市西区新町3丁目13番20号  | ☎(06)534-8600  | 代表 |
| 大阪サービスセンター  | 〒550 大阪市西区新町3丁目13番20号  | ☎(06)534-6751  | 代表 |
| 広島営業所       | 〒732 広島市南区西蟹屋3丁目8番12号  | ☎(082)262-9261 | 代表 |
| 高松営業所       | 〒760 高松市福岡町4丁目7番10     | ☎(0878)22-2321 | 代表 |
| 福岡営業所       | 〒812 福岡市博多区博多駅南2-9-13  | ☎(092)472-0860 | 代表 |

営業所・出張所

- 釧路・帯広・旭川・函館・苫小牧  
青森・秋田・盛岡・山形・郡山  
いわき・前橋・宇都宮・水戸  
土浦・熊谷・越谷・松戸・横浜  
厚木・多摩・長野・津・岐阜  
豊橋・浜松・山梨・長岡・上越  
富山・福井・和歌山・奈良・京都  
滋賀・姫路・松江・岡山・福山  
山口・松山・高知・徳島・北九州  
佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎  
鹿児島・沖縄

PA-3200CE  
PA-3200CEF



8. 8. B

住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承ください。